

受理	3年請願第1号	請願者	松山市西石井1-9-22 第94杉フラット201号 国民の食糧と健康を守る愛媛県連絡会 (愛媛食健連)
	令和3年11月15日		会長 村田 武
件名	米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離と生活困窮者への食料支援を求める請願	紹介議員	三 好 平 飛 鷹 裕 輔
請 願 の 要 旨			
<p>[請願趣旨]</p> <p>コロナ禍の長期化による米の需給環境の悪化で、今年度産の生産者米価は1俵（玄米60kg）9,000円台といわれています。全国農協中央会は、2022年6月末在庫が250万トンを超えると試算し、3年連続で米価暴落の危険があると警告しています。</p> <p>政府は、21年6月末の米在庫予想を219万トンに修正しましたが、適正水準180万トンを大幅に上回っており、米価の下落は深刻です。</p> <p>米生産費は全国平均で1俵当たり1万5,000円です。愛媛県は全国でももっとも高コストの県でほぼ2万円です。「9,000円米価」では米づくりは続けられません。多くの農家が米づくりから撤退すれば、地域農業と農村の崩壊の事態を招きかねません。コロナ禍による需要の消失は生産者には何の責任もありません。それにもかかわらず、史上最大の生産調整を押し付け、その一方で、不要な外米（ミニマムアクセス米77万トン）の輸入の縮小・中止には手をつけようとしていません。</p> <p>一方で、今、コロナ禍で「食べたくても食べれない」人たちが増えており、フードバンクへの提供や子ども食堂などを通じた人道支援のための政府買い入れ、生活困窮者への食糧支援が切実に求められています。</p> <p>以上の趣旨から、地方自治法第99条の規定により、下記の事項を実現するために政府及び関係機関に意見書を提出することを請願します。</p> <p>[請願項目] 過剰米を市場隔離し、生活困難者に対する食料支援制度を実現すること</p>			
結 果			